

史料保存利用問題シンポジウム

地域史料に未来はあるか？

—史料の保存利用と地域のアイデンティティー—

日時：2015(平成27)年6月27日(土) 13:30~17:30

場所：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館1-204 教場

開会挨拶：若尾政希（日本学術会議連携会員 一橋大学教授）

報告

小林 准士（島根大学法文学部教授）

「島根県における地域資料をめぐる現状と保存問題」

添田 仁（茨城大学人文学部准教授）

「過疎化する地域の歴史遺産とその担い手

—茨城史料ネットの活動を通して—」

和崎光太郎（京都市学校歴史博物館学芸員）

「学校所蔵史料の保存と活用—京都市を事例として—」

全体コメント

高埜利彦（日本学術会議会員 学習院大学教授）

閉会挨拶：廣瀬良弘（日本歴史学協会会長 駒澤大学学長）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会 歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会